



春日井ロータリークラブ

2012～2013年度 WEEKLY REPORT

クラブテーマ

ロータリーの奉仕の原点に返ろう



書の街



内津神社



密蔵院

会 長：名畑 豊
副 会 長：社本 太郎
幹 事：志水ひろみ
会報委員長：加藤久仁明
T E L : (0568) 81-8498
F A X : (0568) 82-0265

例 会 日：金曜日 12:30～13:30
例 会 場：ホテルプラザ勝川
事 務 局：春日井市鳥居松 5-45

E - Mail : ksgi - rc@gaea.ocn.ne.jp

サボテンは春日井市のシンボル

本日のプログラム

- 司会 蓮野 美廣君
- ・点 鐘 名畑 豊君
 - ・ROTARY SONG 「我等日本のロータリアン」
 - ・今月の歌 「冬景色」
 - ・ビジター紹介 名畑 豊君
 - ・食事・歓談
 - ・委員会報告
 - ・夜間例会
 - ・祝 福
 - ・幹事報告 志水ひろみ君
 - ・点 鐘 名畑 豊君

今月の歌

冬景色
さ霧消ゆる 湊江の
舟に白し 朝の霜
ただ水鳥の 声はして
いまだ覚めず 岸の家

今月の祝福

会員誕生日

1日 林 憲正君	1日 磯野 俊雄君
3日 小川 長君	7日 塚本 兼光君
17日 中川 健君	19日 新美 治男君
21日 和田 了司君	29日 宅間 秀順君

夫人誕生日

4日 風岡 保広君・玲子さん

結婚記念日

2日 伊藤 一裕君	2日 宅間 秀順君
5日 大畑 一久君	11日 山田 治君
16日 清水 勲君	

2013年2月22日(金)第2127回(2月第4例会)

アテンダンス表彰

10ヶ年 近藤 太門君

先週の記録

会長挨拶 会長 名畑 豊君

本日はセブ島での水洗トイレ寄贈の話させていただきます。先々週のウイークリーで工事の現状を写真として報告させていただきました。工事は順調に進んでいます。工事の終了予定は、2013年の6月までとなっています。時年度からはいつでも寄贈式が行うことができるようになります。しかし、この1ヶ月で状況の大きな変化がありました。みなさん、ご存知の円安の問題です。工事の見積もりを取得しましたのは、1年前です。そのときは、フィリピン1ペソが、2円でした。いまはフィリピン1ペソが2,5円になっています。20%以上の円安になっています。見積もり金額は、350万円でしたから、その当時では、175万ペソが現地の工事業者は受け取ることができました。円安のために、1ペソ2.5円として計算すると、140万ペソしか、現地の工事業者は受け取ることができません。昨年の暮れには、1ペソはまだ2円でした。工事で工金として100万円を支払いました。ですから工事業者は、50万ペソ受け取りました。今月の初めに200万円、工事途中金として支払いました。この200万円で、工事業者は80万ペソ受け取ることになりました。あとの50万円は、工事完成後になります。この50万円は、20万ペソになります。工事業者の受け取る金額合計は、150万ペソになります。当初の計画より、25万ペソ収入が少なくなります。7000から8000ペソが、セ

世界理解月間

例	3月1日(金)	3月8日(金)	3月15日(金)	3月22日(金)
会	理事役員会 11:30	卓話春日井警察署長	卓話春日井副消防長	卓話
予	卓話 古屋 義夫君	折小野 裕之氏	落合 義之氏	春日井市長
定	次年度委員長挨拶	春日井警察署員表彰	春日井消防署員表彰	伊藤 太氏

ホームページ：<http://www.kasugai-rc.jp>

E-mail：ksgi-rc@gaea.ocn.ne.jp

ブ島の労走者の1ヶ月給料ですから、25万ペソの減収の大きさが理解できると思います。しかし、何とか予算以内で工事完了してもらうように依頼しています。

本来、6月までの完成予定でしたので、私は3月中旬に200万円を支払えばよいと考えていました。しかし、工事業者は、突然に、至急途中金をもらいたいと申し入れがありました。円がどこまで下がるかわからないからです。もうひとつ大きな問題が工事業者には発生しました。建築資材の高騰です。

生コンはこの2ヶ月で15%上がりました。しかも、以前は月締めの支払いでしたが、15日毎の現金払いになりました。どうして、建築資材が上昇したのでしょうか。

チャイナプラスワンの動きがフィリピンにも来ていたからです。チャイナプラスワンは、ベトナム、タイ、インドネシア、最近、ミャンマーとマスコミは報じていますが、フィリピンもそのひとつの国になっています。

中国大連にある、キャノン、日本電産、マブチモーターは2、3年前からベトナムに大きな工場を建設しました。また、携帯電話では日本の企業よりはるかに大きい、サムソンがベトナムにスマホの工場を韓国の国の支援により大工場を建設して稼働させています。三菱東京UFJの人と本日、会いました。中国への進出は大幅に減少して、やはり、上記の国々への進出を考えている経営者が多いとのこと。ここでは、日本の企業、韓国の企業が凌ぎを削っているとのこと。そのためわかりませんが、タイでは20%、最低賃金が上昇しました。ベトナムも上昇しているとのこと。インドネシアは、70%も最低賃金を上げると新聞で読みました。

フィリピンは隠れた、チャイナプラスワンです。投資の話が、2011年に比較すると2012年は70%増加したとのこと。設備投資の増加が建築資材の高騰に繋がっていると私は思います。

もうひとつの興味がある話をします。これは例会の時は時間の都合上できなかったことです。フィリピンには韓国の語学留学生が、現在、20万人いるそうです。もちろん英語の語学留学生です。日本人は、多くてもフィリピンには数千人とのこと。韓国人がすごいなと思ったことがあります。フィリピンで語学留学を1年半行い、あとの半年をニューヨーク、ロンドンなど語学留学に切り替えることを聞いたことです。これらの人にとって、最終学歴は、ニューヨークやロンドンになります。韓国人にとって英語ができなければ良い就職先はありません。韓国人がいかに国際化を目指しているか理解できます。

日本人の現在の留学生は58000人と最近の

新聞に載っていました。年々、減少傾向にあるとのこと。日本にいる中国人は、これは中国人から聞いた話ですが、70万人で外国人ではトップです。其のうち、20万人以上が不法滞在とのこと。日本の留学生で一番多いのは中国人です。

韓国の語学留学生が多い原因は、費用が安いからです。食事、学費などを含めて1ヶ月10万円くらいとのこと。ちゃんとした学校に入学すれば、正しい英語を教えてくれます。フィリピン英語ではありません。昨年、面接した、フィリピンの高校生はきれいな英語を話していました。これは彼女らの成績と関係すると思います。奨学生のことですが、来年は5000ペソですから、次の1年は、10000ペソ×2.5円ですから、25000円になります。

あしながおじさんへ。よろしく願います

幹事報告 幹事 志水ひろみ君

第5回持ち回り理事役員会報告

日時 2013年2月15日(金)

審議事項

第1号議案 : 2013年~2014年組織の件 承認
報告事項

春日丘高校IAC例会

出席者 峠テル子委員長

日時 平成25年3月4日(月)

16:30~17:20

場所 春日丘高校

第2回地区内クラブ社会奉仕・RCC・環境保全委員長会議

出席者 伊藤純社会奉仕委員長、早川八郎環境保全委員長

日時 平成25年3月7日(木)

15:30~18:00

場所 名鉄グランドホテル 11階 柏の間

会長エレクト研修セミナー(PETS)

出席者 屋嘉比良夫君、加藤久仁明君

日時 平成25年3月16日(土)

10:00~16:00

場所 ウェスティンナゴヤキャッスル

第3回フォト俳句展への作品出展について

開催時期 平成25年5月27日(月)~6月3日(月)

場所 フォトサロン「サン・ルウ」

参加対象 2760地区RC会員およびファミリー参加申し込み期日 平成25年4月5日(金)

応募要領 当事務局にて書類をお渡しします。

例会変更のお知らせ

名古屋名北	3月6日(水) 3月6日(水)
RC	夜間例会の為 未定

名古屋北 RC	3月1日(金) 2月26日(火) 18:00 合同例会の為 東急ホテル
一宮中央 RC	3月6日(水) 3月2日(土) 16:00~ IMの為名鉄ニューグランドホテル
あま RC	3月4日(火) 3月2日(土) 16:00~ IMの為名鉄ニューグランドホテル
一宮北 RC	3月1日(金) 3月2日(土) 16:00~ IMの為名鉄ニューグランドホテル
一宮 RC	2月28日(木) 3月2日(土) 16:00~ IMの為名鉄ニューグランドホテル
津島 RC	3月1日(金) 3月2日(土) 16:00~ IMの為名鉄ニューグランドホテル
名古屋東 RC	3月4日(月) 3月5日(火) 18:00 IMの為 八勝館

出席報告 委員長 和田 了司君		
会員 53名	欠席 14名	出席率 73.6%
先々週の修正出席	欠席 2名	出席率 96.2%

ニコボックス報告 委員長 大畑 一久君
自己紹介をさせて頂く為。 河村 哲也君
河村君の卓話に。 近藤 太門君
親戚の安藤サクラさんがブルーリボン賞 主演
女優賞をとられました。 社本 太郎君
2/21-25 清水屋春日井店にて 春日井
RC 写真部による写真展を開催します。ぜひ
ご覧下さい。 北 健司君
いつもホテルをご利用下さり ありがとう。

早川 八郎君
河村哲也君の卓話楽しみです。
足立 治夫君 伊藤 純君 伊藤 一裕君
梅田 英夫君 大橋 完一君 太田 弘道君
岡田 義邦君 亀谷 鉦一君 加藤久仁明君
加藤 茂君 風岡 保広君 加藤 宗生君
貴田 永克君 小島 啓治君 志水ひろみ君
清水 勲君 杉山 孝明君 高橋 理恵君
中島 宗幸君 名畑 豊君 成瀬 浩康君
長谷川英輝君 林 鑛三君 林 憲正君
蓮野 義廣君 場々大刀雄君 古屋 義夫君
森田 誠君 松尾 隆徳君 屋嘉比良夫君
山田 治君 和田 了司君 大畑 一久君

卓話 自己紹介 河村 哲也君
先ずもって、本日は皆様の貴重な御時間を割いて頂きまして、自己紹介「卓話」のお時間を頂きました事を、心より感謝申し上げます。
私は、昭和46年3月31日に、この勝川の足立病院で産声を上げ、幼少期・思春期をこの地元

で過ごして参りました。正直「学生時代」は勉強が、嫌いで・嫌いで、どうしようもない劣等性だと言われていました。趣味は殺生「虫取り・魚とり」でした。正直、今思うと勉強やスポーツに身を投じておけばと思う日も幾度となくありました。

ちょうど22歳に転機が訪れ、ある人との出会いにより、スーツ2着をもって上京し、ハローキ経由で不動産の門をたたき、東京で「成功してみせる」とがむしゃらに頑張っておりました。上京して1年目は、本当に苦しい生活をしてきた記憶があります。

しかし、東京は生き馬の目を抜くと言われる程の街で、何も取りえのない私は28歳にして勤めていたデベロッパーの破綻でリストラにあい、やる気を失い都落ちをしてしまいました。その時の気持ちは、この業界では無学ゆえ必ず空き缶のように使い捨てをされ、人生が終わってしまう、だから人に使えるのはもう辞めよう、学歴や子飼いの犬ばかりを大切にしているサラリーマン社会に対し、私なりに先が見えたからです。

そこで、サラリーマンはもう辞めようと確信致しました。

故郷にかえり半年くらい退職金や預貯金を使い、社会から離脱していましたが、そんな時間が流れている時、不動産会社を経営する父より会社に来て、お金を稼いで来いとだけ言われました。給与は月給25万！最初の1年間は正直つらい日が続きました、21世紀だと言うのにパソコンもない会社！しかし、このフィールドが人生最後の戦場と私は知っていました。学もない・とり得もない私が、本来であればコンビニの店員で終わるような男が、親の7光とも言われるフィールドがある、しかしここで開眼しなければ人生は終わる、そう思いながら、「考え動き」不動産を通じて、お金を稼ぐ？事だけを考えていました。そこで、たどり着いたのが不動産管理業です、仲介や売買では安定収入は入りません・資金もないので不動産を買って不動産賃貸業なんて夢のまた夢、だからこの、知恵を絞りに絞り、空き地や空き店舗の斡旋依頼を増やし、契約後は管理をさせて頂く仕事を構築していきました。つまり、原価のない信頼の世界が待っていました。

会社運営は安定こそが第一、一般的な仲介業売買を持続させながら管理業を軸にしていく！その為に、1日5件・空き地や・空き店舗の所有者を調べ訪問致しました。入社当時は、弊社の管理物件は5件程でしたが雨の日・雪の日には必ず訪問をし、毎年毎年「犬も歩けば棒に当たる」、歩けば歩くほど当たりに当たり、10年ほどたつと、まあまの管理物件数になり、営業活動をしなくてもお客様が来るようになっていました。現在では、次なるビジョンへのシフトも行っております。

今も常に思いますが、あくまでも父のフィールドがあったからこのその順風満帆な人生が今でも続いていると信じており、どれだけやっても、礎なしに語れない事を、補足させていただきます。私は、2代目が会社を10倍100倍にして当然だと感じております、これが1000倍まで行けば上出来だとも思っていますので、いつになっても生まれた布団への感謝は忘れません。

さて、話は変わり私も昨年の、厄年を迎える事になり、今は後厄ですが

ちょうど1年前の2月15日、私は、ある決断をしていました。

それは、耳を疑う言葉かも知れませんが、「足を落とすか・足を残すか？」その理由は、右膝の裏に「脂肪肉腫」という癌が発見され、医師にステージ3「5年予後60%」と前日に癌告知を言われたからです。

「10日後に手術室を予約してあるので、残すか残さないかだけ決めて下さい。」

詳細内容として、切断は最善の治療です、足を残す治療の瑕疵温存治療もあり神経と血管と皮膚を相当除去するため、動かない足が残ると同時に皮膚と血管、内臓にある肉の組織移植が有りの再生には2年間の月日が掛かり、その際癌の転移する確率は70%以上と感じていました、ここで1歳の娘が居る家族や会社の事だけを考え選択し、生き延びる為と、最短で社会復帰することを考えました。

決断は簡単に出ましたが、自分の事が自分の事ではないような感覚で決めていました。

最初の主治医の説明には、切断後は生涯両松葉づえ生活です！とも説明を受け、それだけは勘弁して下さいと、ついつい言ってしまいました。数日後、セカンドピにオンを受けた際に、河村さん頑張れば歩けるよと言われとても希望を持てた事は鮮明に覚えています。

手術の日までは怖くはありませんでしたが、切断をする手術室にはいる前には何とも言えない悲しみと無念さが襲いました。麻酔をうたれ、目が覚めると8時間の時が流れ、右足がなくなって居た記憶は、不思議と鮮明に覚えています。今でも、名古屋高速から名大を見ると怖くなり、それでも3ヶ月に1回は検査と診察に伺っておりますが、足を失って気づく事もたくさん出てきました、障害者の目線・闘病に対する目線・健康である事に対する感謝の心、生きると言う素晴らしさ、今までのように仕事をする素晴らしさ。全てが素晴らしいと感じるまでに変化してしまいました。

そこで、ここから拾った命に対し、健康を保ち・親切をモットーとし、社員とお客様が喜ぶ会社運営と・地域にも喜ばれる運営に努めれば良いと変わっていきました。

本来この癌さえなければ、1年前に伝統あるロータリクラブに入会させて頂き、卓話内容も違っていたかと思いますが、本日が最初の卓話となった事も、何故か、神様が卓話のネタに協力してくれたと感謝しています。

そして、最後に、まだまだ、これからの人生を「趣味の仕事と旅行・そして志の達成」に全力でチャレンジして行きますので、私の無限に広がる「生きる糧」が、世界平和へ寄与と繋がります様、諸先輩方に心より、御指導を・御鞭撻を、お願い申し上げます、本日の卓話とさせていただきます。

以上、御清聴ありがとうございました。



自己紹介 河村 哲也君